

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科医療秘書専攻		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	AI概論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	専攻科医療秘書専攻		学期及び曜時間	後期	教室名	PC小教室
担 当 教 員	吉岡 伸一郎	実務経験と その関連資格	C#によるWindows上デスクトップアプリケーションソフトの設計、製造等にPG/SE、MGRとして従事			
《授業科目における学習内容》						
2年次におけるC#に関する講義内容を発展させ、より具体的に各アプリケーションの製造実習を行い、それを通じて論理的思考やコンピュータ内でどのように各種データが処理されているのかを学ぶ事を目的(目標)とする						
《成績評価の方法と基準》						
試験(40%)、出席(30%)、平常点(30%:主として授業態度、但し場合により抜き打ちテスト点数を加味)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
作って覚えるVisualC#2022 デスクトップアプリ超入門 秀和システム						
《授業外における学習方法》						
理解度の確認(確認方法は主には講義中の口頭などでの理解度チェック、但し場合により必要に応じて抜き打ちでのテスト等を行う)						
《履修に当たっての留意点》						
プログラミング、及びプログラミング言語の習得に最も必要なのは「何かPC上で動くものを作り上げたい」という意欲を持つことその意欲を具現化するために本講義のような知識や技術が必要となるという論理になるので、主客転倒しないこと						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	2年次の講座に引き続き、実際のC#アプリの製造演習ができる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う	
		各コマにおける授業予定	動画(MP4)を取り扱う事の出来るC#アプリの製造演習(1)			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	2年次の講座に引き続き、実際のC#アプリの製造演習ができる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う	
		各コマにおける授業予定	動画(MP4)を取り扱う事の出来るC#アプリの製造演習(2)			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	2年次の講座に引き続き、実際のC#アプリの製造演習ができる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う	
		各コマにおける授業予定	動画(MP4)を取り扱う事の出来るC#アプリの製造演習(3)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	C#の文法、オブジェクト指向についての基礎知識(1)が習得できる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ごく簡単なC#の文法、及びオブジェクト指向型設計の思想を学ぶ			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	C#の文法、オブジェクト指向についての基礎知識(2)が習得できる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う	
		各コマにおける授業予定	「継承」を利用した簡単なアプリを作成し、その概略を理解する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	C#の文法、オブジェクト指向についての基礎知識(3)が習得できる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う
		各コマにおける授業予定	「多態性」を利用した簡単なアプリを作成し、その概略を理解する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	ここまでの理解度チェック、及び復習、弱点補強が習得できる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う
		各コマにおける授業予定	ここまでの講義における理解度のチェック、及び全般的に理解が薄い部分について、改めて説明を行い各自弱点補強に努める		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	以前に作成したテキストエディタの機能向上(1)の概要が理解できる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う
		各コマにおける授業予定	まず、以前作成したテキストエディタを改良し、より複雑な文字列置換を行えるよう「正規表現」の基礎を学び、各自改善実装する		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	以前に作成したテキストエディタの機能向上(2)の概要が理解できる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う
		各コマにおける授業予定	「文字色」を特定のワードに付与できるエディタへ改良する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	以前に作成したテキストエディタの機能向上(3)の概要が理解できる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う
		各コマにおける授業予定	文字色を始めとする文字修飾を行えるように改良し、その結果を単なるテキストファイルではなく、修飾情報も合わせて保存可能なリッチテキストファイルへ保存するよう実装する		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	右記テキストにおける終盤項目の比較的長文アプリ作成(1)の概要が理解できる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う
		各コマにおける授業予定	右記テキストにおける終盤項目の比較的長文アプリの作成を前半の比較的「軽め」のものに引き続き実施する		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	右記テキストにおける終盤項目の比較的長文アプリ作成(2)の概要が理解できる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う
		各コマにおける授業予定	右記テキストにおける終盤項目の比較的長文アプリの作成を前半の比較的「軽め」のものに引き続き実施する		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	右記テキストにおける終盤項目の比較的長文アプリ作成(3)の概要が理解できる。	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う
		各コマにおける授業予定	右記テキストにおける終盤項目の比較的長文アプリの作成を前半の比較的「軽め」のものに引き続き実施する		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	ここまでの振り返り	作って覚える VisualC#2022	左記教材、及び必要に応じて配布するプリント等の補助資料があればそれらの予習、復習を行う
		各コマにおける授業予定	C#によるwindowsアプリ製造の障害になるような点があれば各自質疑応答にてそれらの除去に努め、「windowsアプリは簡単に作成できる」との理解を共有する		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめ	作って覚える VisualC#2022	
		各コマにおける授業予定	総まとめ	必要に応じて配布した補助資料	